

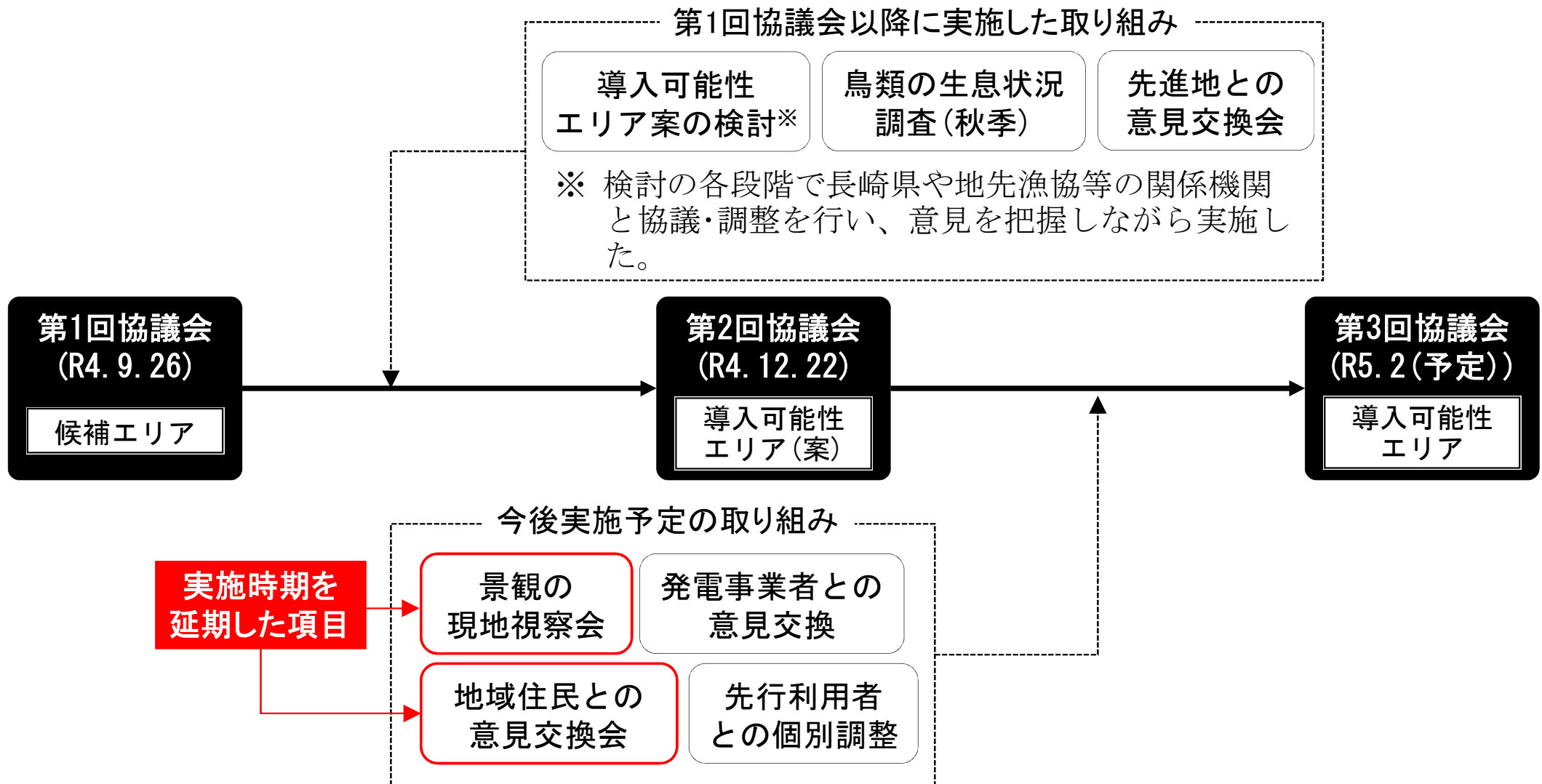
事業の進捗及び今後の予定について

— 目次 —

1. 第1回協議会以降の取り組み	p1
2. 取り組み内容とその結果	p2
2-1. 導入可能性エリア案の検討	p2
2-2. 鳥類の生息状況調査	p3
2-3. 先進地との意見交換会	p6
3. 今後の予定	p8

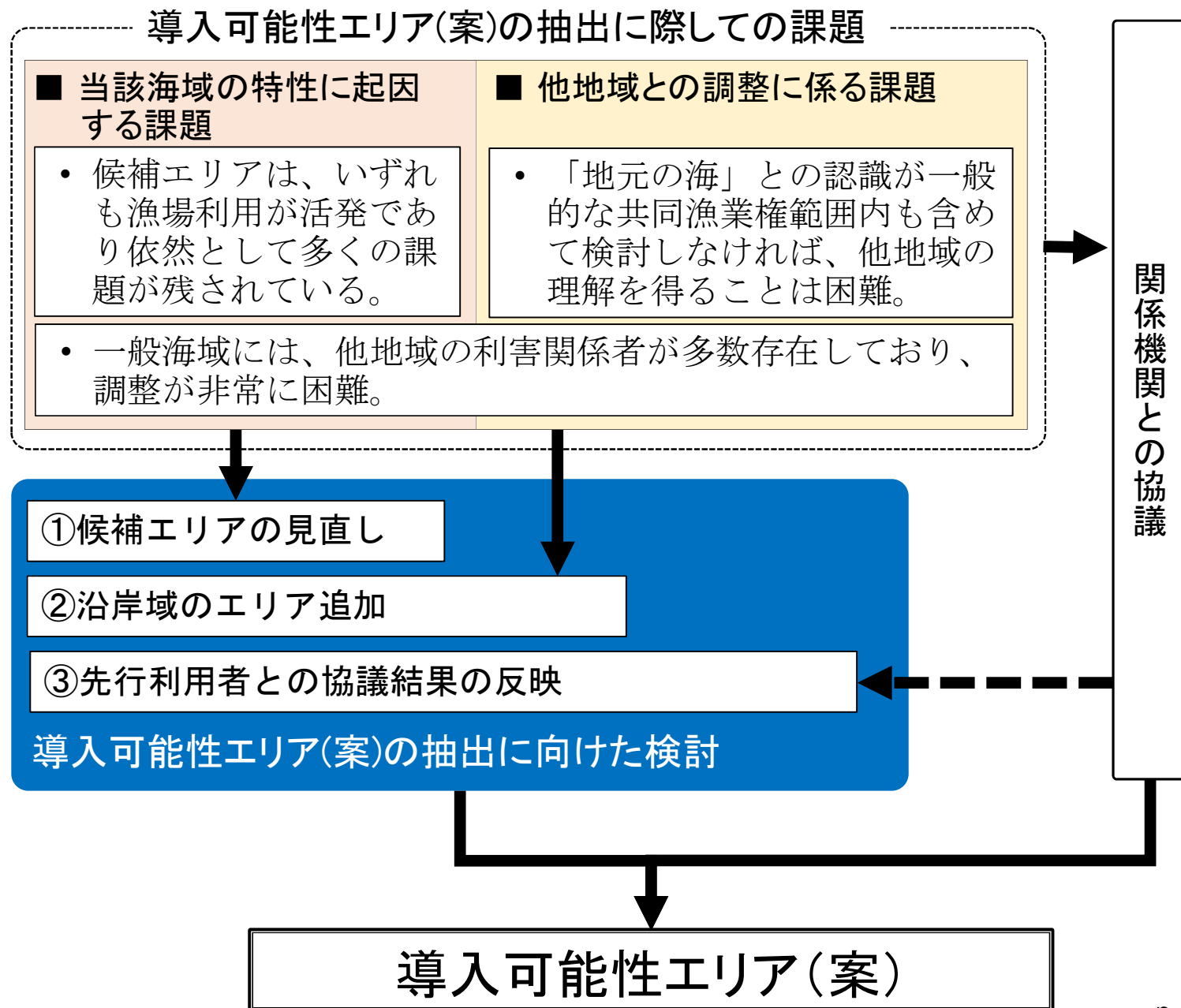
1. 第1回協議会以降の取り組み

- 第1回協議会以降に実施した取り組みは以下のフロー図に示すとおり。
- 導入可能性エリア（案）の抽出が遅れたため、いくつかの取り組みは第2回協議会后に延期することとした。



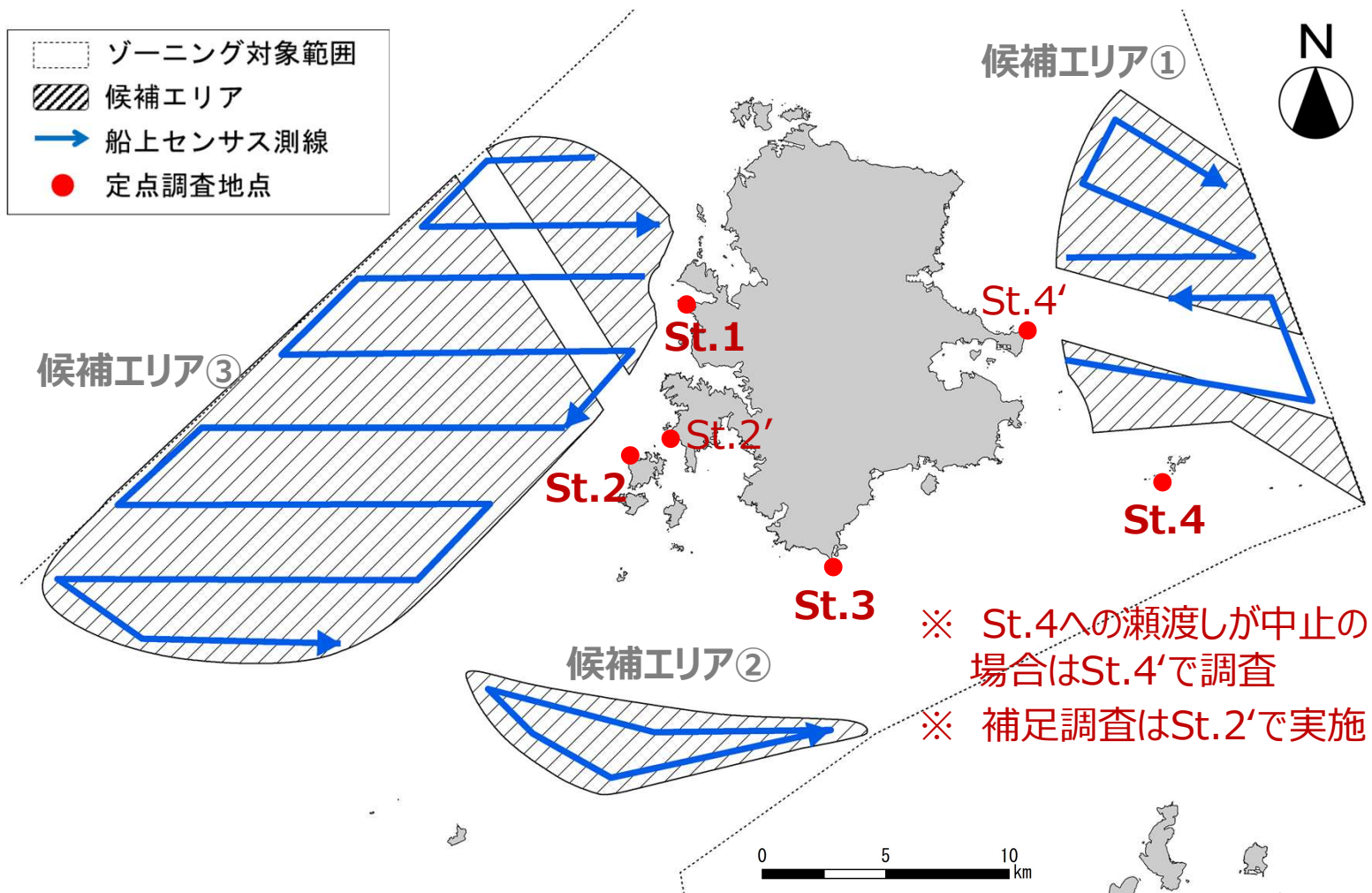
2-1. 導入可能性エリア案の検討

- これまでの検討の中で、明らかになった課題の解決を図るとともに、関係機関との協議を並行して実施。
- 検討の結果抽出された候補海域を、環境や先行利用への影響、事業性の観点から総合的に判断し、導入可能性エリア(案)を抽出した。
- 詳細は、資料3に示す。

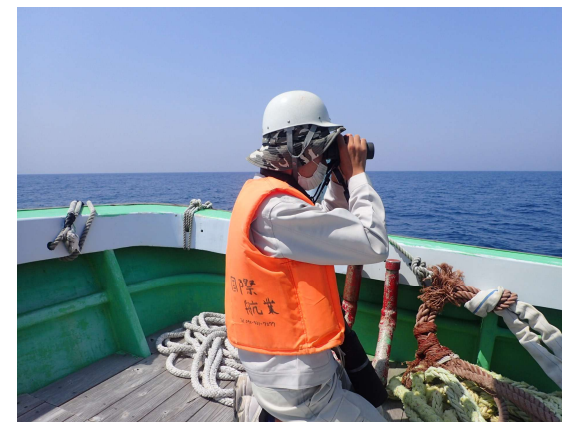


■ 調査概要

- 海鳥を対象にした調査（船上センサス調査）と渡り鳥を対象にした調査（定点調査）を実施。
- 調査は、繁殖期（春季）と非繁殖期（秋季）の2季実施した。



【船上センサス調査】



【定点調査】

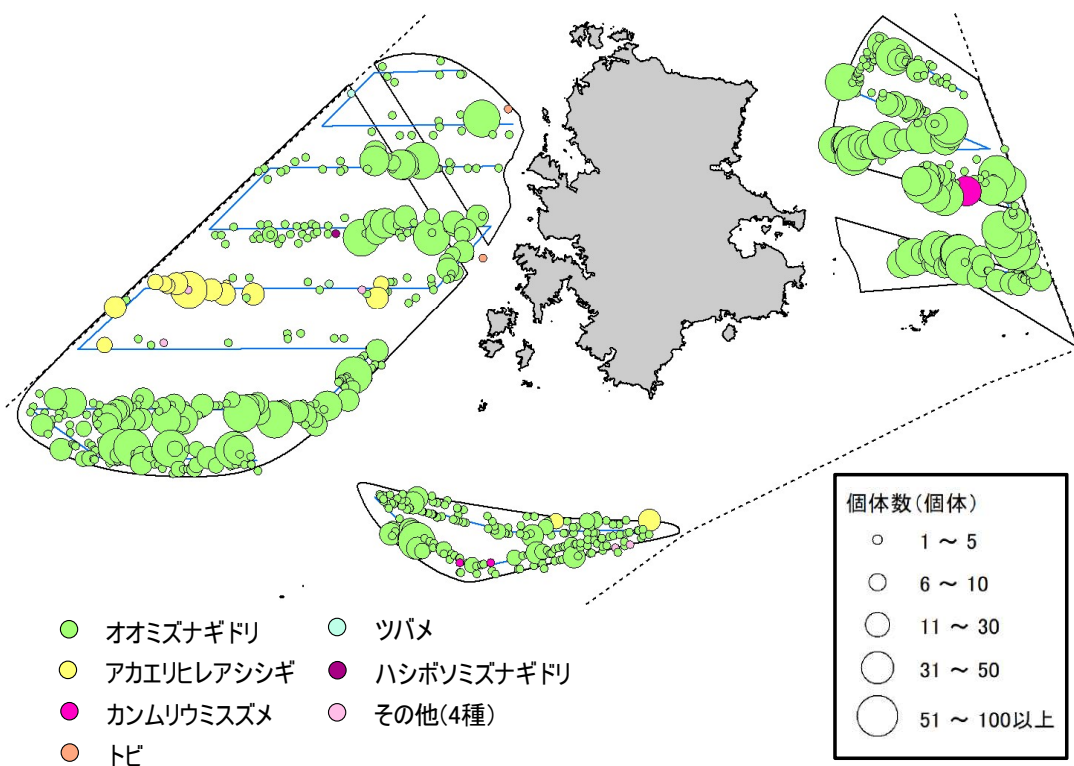


■ 船上センサス調査の結果

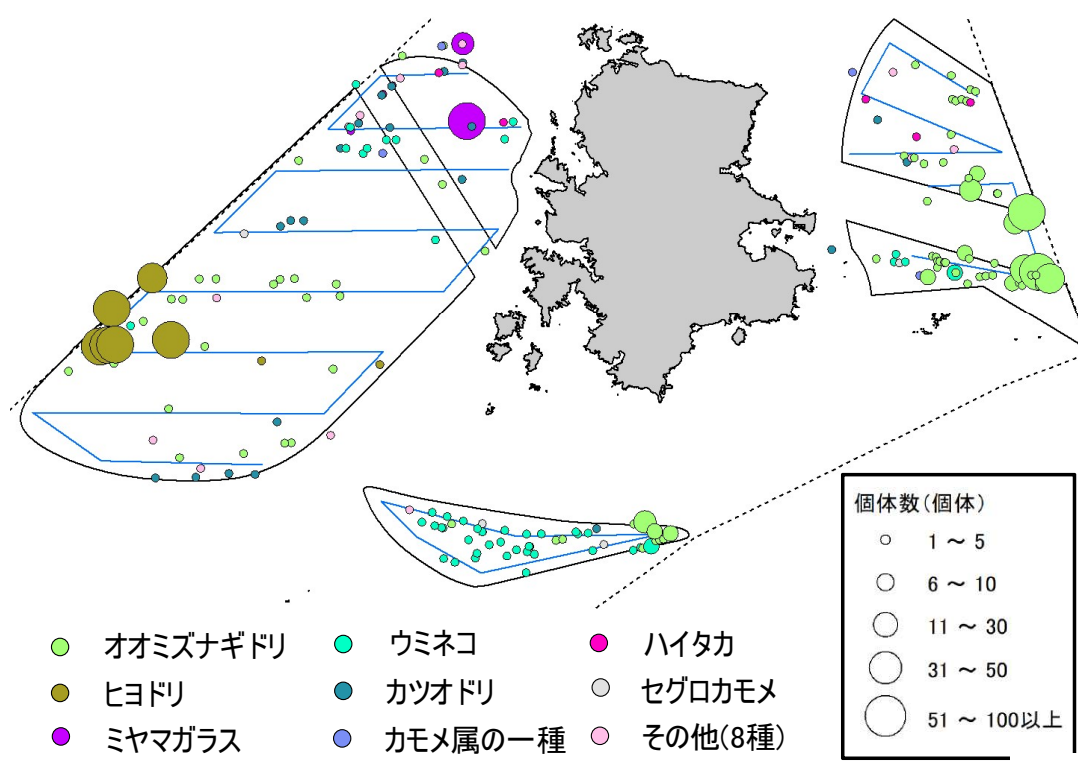
- 海鳥のうち、オオミズナギドリは繁殖期・非繁殖期とも壱岐島周辺で広く確認され、重要種カンムリウミスズメは繁殖期のみ壱岐島東部・南部で確認された。
- これら海鳥の飛翔高度は最高で10mであり、設置が見込まれる風車ブレード高さ（26m）未満がほとんどであった。

⇒事業実施段階では、候補海域の利用状況や繁殖地との移動を把握し、必要に応じて保全措置が検討されることが望ましい。

【春季(繁殖期)調査】



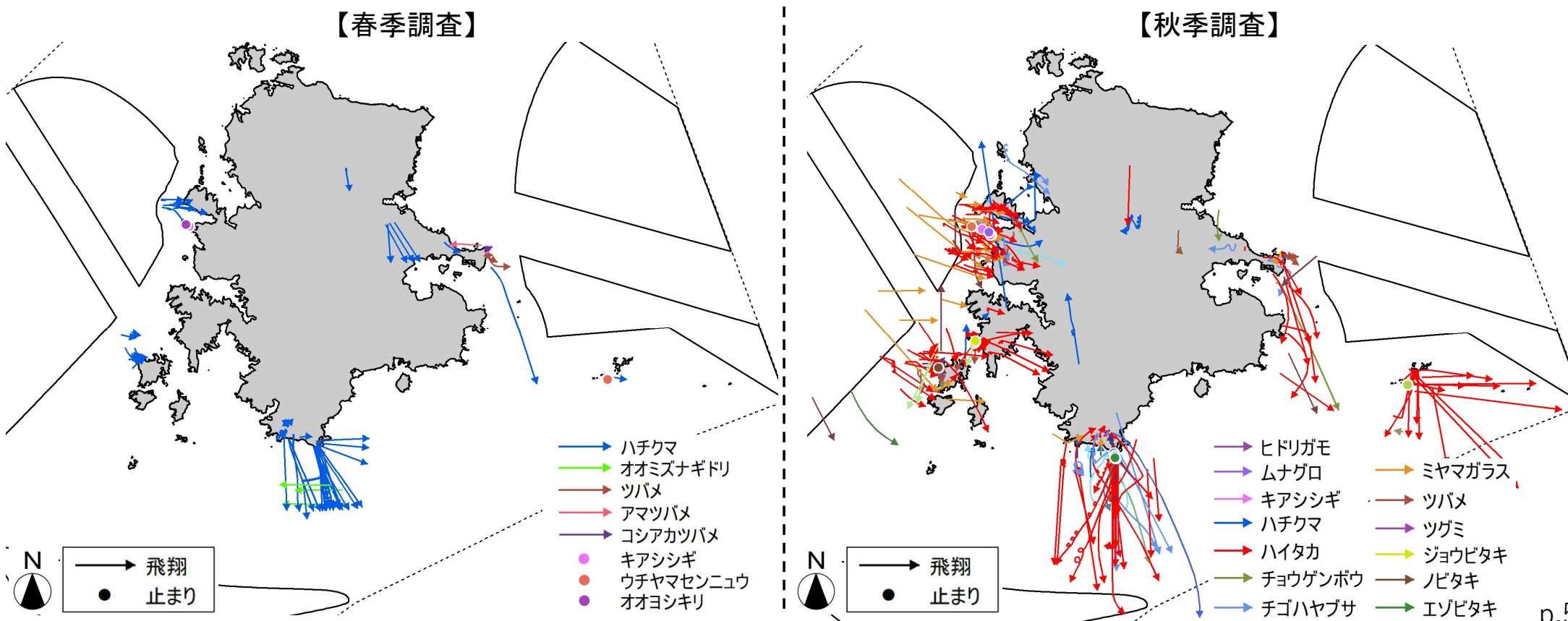
【秋季(非繁殖期)調査】



■ 定点調査の結果

- 春季・秋季とも、北西～西から壱岐島に飛来し、島の東部・南部から九州本島へと南に飛去する傾向がみられた。
- 高度を記録した421例中、277例（65.8%）が、想定する風車ブレードの高度（海面から26～200m）を飛行していた。

⇒事業実施段階では、候補海域の渡り鳥の飛行について詳細を把握し、必要に応じて保全措置が検討されることが望ましい。



- 協議会構成員及び壱岐市地先漁協に所属する漁業関係者にお集りいただき、洋上風力発電の先進地である銚子市及びその関係者（銚子市漁業協同組合、発電事業者、商工会議所）と意見交換会を実施した（令和4年11月2日）。
- 具体的には、銚子市において促進区域指定までにどのような合意形成が行われてきたかご説明いただいた後、壱岐市と銚子市間で質疑応答が行われた。

【主な質疑応答の内容(1)】

概要	壱岐市側からの質問	銚子市側からの回答
洋上風力発電による経済への波及効果について	これまでの風力発電の導入により新たに創出された産業や観光資源等はあるのか。また、今後洋上風力発電事業が実現した場合、経済へどのような波及効果が見込まれるか。	地域新電力会社の設立により、若干名ではあるが、新たな雇用が創出された。また、今後事業が実現した場合には、観光資源、景観資源としての活用ができるのではないかと期待している。
促進区域内での漁業について	促進区域内では漁業が実施されているのか。	当該海域では、曳縄漁、延縄漁が行われている。風車建設後も安全の確保を前提として、一定の条件下で漁業操業ができるよう検討している。
漁業者との合意形成について	漁業関係者の賛同は得られているのか。	賛同を得ている。合意形成までには、漁協内にある漁業種別の部会で幾度も協議が行われ、漁業活動に極力影響のない場所を選定した経緯がある。

【主な質疑応答の内容(2)】

概要	壱岐市側からの質問	銚子市側からの回答
海運への影響	事業によるレーダーへの影響は明らかになっているのか。	実証事業による検証では、顕著な影響はないとの結論に至った。また、実証機近隣を航行する船舶からも、現段階ではレーダへの影響については報告されていない。
県との連携について	銚子市では千葉県とどのように連携して事業を推進してきたのか。	漁業関係者が最も重要なステークホルダーの1つであるという認識を共有し、早期の段階から連携を図ってきた。
合意形成に要した期間について	利害関係者との合意形成にはどの程度の期間を要したのか。	およそ1年程度であったと記憶している。月に2~3回程度の事業者との協議を経て、比較的短期間で合意形成に至った。銚子市では、先行して実証事業が実施されていたため、関係者との協議・調整が比較的円滑に進んだと認識している。

- 本年度中の導入可能性エリア抽出を本事業の最終目標として以下の取り組みを進める。
- 抽出された導入可能性エリア及び実証事業の実施に向けた調整結果は、第3回協議会（令和5年2月中旬実施予定）に諮り、ご協議いただく予定。

【第3回協議会までに実施する予定の取り組み内容(1)】

地域住民との意見交換会	実施時期 令和5年1月上旬～中旬 会場 市内の公共施設2箇所程度（会場ごとに1回ずつ開催予定） 内容 地域住民の皆様にお集りいただき、壱岐市及び他地域（洋上風力発電先進地）の関係者様と、シンポジウム形式で洋上風力発電に関する意見交換を行う。
先行利用者との個別調整	実施時期 令和5年1月 内容 導入可能性エリア(案)を基に、当該海域を先行利用する利害関係者と導入可能性エリア抽出に向けた条件や意向について協議を行う。
発電事業者との意見交換	実施時期 令和4年12月下旬～令和5年1月中旬 内容 壱岐市周辺海域にて事業実施を検討している発電事業者に対して導入可能性エリア(案)を提示し、事業性の観点から意見のヒアリングを行う。

【第3回協議会までに実施する予定の取り組み内容(2)】

景観の 現地視察会

- 実施時期** 令和5年1月上旬～下旬
- 視察場所** 導入可能性エリアを望む主要な眺望点（2地点程度を想定）
- 内容** 地域にて観光業に携わる事業者の皆様にご参加いただき、洋上風力発電導入に伴う、主要な眺望点からの景観の変化の程度をARを用いてご確認いただく。

②AR映像を大画面に投影



【現地視察会のイメージ】



【AR画像のイメージ】